

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランドメゾン大手門1丁目計画	階数	地上27F
建設地	福岡市中央区大手門1丁目1番7	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	224 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2023年12月5日
敷地面積	1,750 m ²	作成者	株式会社手島建築設計事務所 田邊 健吾
建築面積	754 m ²	確認日	2023年12月5日
延床面積	15,502 m ²	確認者	株式会社手島建築設計事務所 野田 康広



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
ZEH基準を満たす外皮性能とし、高効率な設備機器の導入により環境負荷の低減を図るとともに、ライフサイクルCO ₂ 排出量の低減に努めている。		劣化対策、耐震性、可変性、維持管理・更新の容易性、高齢者対策等級、省エネルギー対策について、長期使用構造等とするための措置及び維持保全の方法基準を満たす計画としている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部の遮音性を高め、屋内の音環境に配慮している。また、ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地、建物利用者が自然に親しめるように歩道状空地を設け、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
効率のよい設備機器を導入、照明のLED化により、建物の熱負荷の低減に配慮している。	躯体と仕上材の分離を容易にするため、LGS下地を採用することで部材の再利用可能性向上に取り組んでいる。	敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される